

手作業では限界」
—BankservAfricaが挑んだ、テ
スト自動化による品質革命

手作業テストの限界に直面。スピード・品質・拡張性を同時に求められた！

【背景と課題】

背景

- BankservAfricaは、アフリカ最大の決済ネットワークを運営し、主要銀行間の清算・決済を担う。
- 2拠点運用によるシームレスな取引処理を実現し、スケールメリットを活かしたコスト効率化を推進。
- 日本市場同様、「取引ボリューム増大×コスト圧力×信頼性要求」という三重の課題に直面。

DebiCheck ACバッチテストの課題

- 各債権者銀行→債務者銀行間のトランザクション一致確認が必須。
- テスト用XMLファイル作成に膨大な時間と手間。
- 手作業による小規模修正・使い回しでは、
 - ①テストカバレッジが限定的、
 - ②エラー発生リスクが高止まり。

具体的なボトルネック

- 毎回のテストで新しいトランザクションID、正規データの作成が必要。
- システム全体をカバーできず、「単一銀行対象」の部分テストにとどまっていた。

今求められるのは——「手間ゼロ・エラーゼロ」で、すべての銀行と取引をカバーする次世代型テスト運用。

【導入ソリューションと取り組み】

Eggplantで現場が変わる。手作業ゼロ・エラーゼロの世界へ

採用したソリューション

- Eggplant Test Automationを導入し、XMLファイル作成プロセスを完全自動化しました。
- 「テストパラメータ設定機能」により、宛先銀行数、トランザクション数、日付範囲などを自由に変更できる柔軟設計を実現しました。
- テストデータ生成だけでなく、出力結果と期待結果のファイル比較まで自動化しました。

IT Ecology社による支援内容

- BankservAfricaのテスト環境を徹底分析し、最適な自動化設計を実施しました。
- **手作業では不可能だった「多銀行・大規模データセット」**を、わずか数分で生成できる運用に最適化しました。



膨大なトランザクションを含むファイルが、今や数分で作成できるようになりました。以前は“夢物語”だった全銀行一斉テストも、現実のものになりました。」

— ダーク・ローゼン
IT Ecology社ディレクター

具体的な改善ポイント

- すべての債務者銀行に対してテストを同時実施できるようになりました。
- ファイル作成時のエラー率が20%からゼロに削減されました。
- エラー発生時の調査時間（1件あたり30分）も、ほぼゼロに短縮されました。

【得られた成果と日本市場への示唆】



「脱・手作業」こそ、金融DX時代の必須条件です

BankservAfricaが得た成果

- 大容量トランザクションファイルを数分で作成できるようになりました（従来比で大幅に高速化）。
- エラーゼロ運用によるテスト品質の抜本改善を実現しました。
- テストカバレッジ拡大によって、リスク検知力も向上しました。
- 新規銀行オンボーディング期間を短縮し、事業スピードを加速しました。
- QAリソースの最適化により、コスト削減と再投資を促進できるようになりました。

日本市場への示唆

- 日本国内においても、キャッシュレス拡大・金融DX推進により、
テスト規模拡大・網羅率要求が急速に高まっています。
- 従来の「人海戦術テスト」では、コスト増加・品質低下のリスクが顕在化しています。
- Eggplantのような柔軟かつ拡張性の高いテスト自動化ツールを導入することが、次世代金融インフラ構築に向けた必須の取り組みとなります。

Keysightは、設計、エミュレーション、テストの課題を迅速に解決し、イノベーターが技術の限界を押し広げ、最高の製品体験を生み出せるよう支援します。
イノベーションの旅を今すぐ始めましょう → www.keysight.com/eggplant